

分野： (1) 小児・成人ぜん息に関する調査
 (2) 高齢者を含む成人ぜん息患者の個別化治療を目指した治療実態の把握及び効果的な治療・療養方法の策定

(1) - (2)

申請課題名： 高齢者を含む成人ぜん息患者の個別化治療を目指した治療実態の把握及び効果的な治療・療養方法の策定

調査研究代表者氏名： 鈴川 真穂

1 評価項目						
5点:大変優れている(A判定) 4点:優れている(B判定) 3点:普通(C判定) 2点:やや劣っている(D判定) 1点:劣っている(E判定)						
	5点	4点	3点	2点	1点	平均点
(2) 研究成果目標の達成度	1人	2人	2人	0人	0人	3.80
(3) 研究計画の妥当性	1人	3人	1人	0人	0人	4.00
個別評価(第3評価):(2)(3)の平均						3.90
(6) 総合評価(第2評価)	1人	3人	1人	0人	0人	4.00
全体評価(第1評価):(2)(3)(6)の平均						3.93

2 記述評価

- ・かなり膨大なデータであり、かつ有意義な研究結果が出ることが期待される。その結果をもって高齢者喘息に対して積極的な治療・管理介入ができるのではないかと。
- ・過去の報告との比較も可能な範囲で行うと治療内容の変化や患者像の変化などについても考察できると考えられる。
- ・治療実態の把握が効果的な治療・療養方法の策定につながることを期待。
- ・当初の目標には、高齢者ぜん息用のガイドライン作成と前向き臨床試験、、、とあるが、到達目標を改めて明確にすべきである。変更があれば、その理由も必要。
- ・先行研究と本研究との関連と種々の点でのすみわけを明確にすべき。
- ・大規模な成人ぜん息患者データの解析により、非高齢者と高齢者の特性を明らかにしつつある。
- ・一人暮らし高齢者の増加など、高齢者を取り巻く社会経済的な環境等も視点に加えて、高齢者ぜん息患者の実態を把握して、治療・管理計画の立案を目指してほしい。